

令和7年度 天草支援学校「地域とともにある学校づくり」に関するアンケート【結果報告】

- 1 目的 学校運営や教育活動の改善に役立つ満足度や改善点を把握する
- 2 方法 オンライン形式で21問の5段階評価方式のアンケート実施
- 3 対象 保護者・教職員
- 4 集計 学部別
- 5 アンケート概要

(1) 回答率

【保護者】高等部 47.06% 中学部 79.17% 小学部 57.14% 【教職員】100%

※高等部の回答率47.06%は改善が必要で、全体の回答率に差が見られます。

(2) 傾向

保護者様の回答では、一度「5」や「3」を選ぶ方は、全設問で同じ評価を選ぶ傾向があり、詳細分析が難しくなりました。一方教職員では項目により回答がばらけています。

6 評価の比較

(1) 学部別平均値（満足度）の比較 ※5に近づくと高評価

【保護者】高等部 4.26 中学部 4.28 小学部 4.60 【教職員】4.24

※小学部は平均評価4.60と非常に良好で、中学部・高等部も高評価を得ています。

(2) 「3」の評価であった割合

【保護者】高等部 26.09% 中学部 22.22% 小学部 5.00% 【教職員】14.37%

(3) 過小評価（1、2）であった割合

【保護者】全学部0% 【教職員】1.15%（回答者のうち 1⇒1人 2⇒28人）

※教職員全てが高評価ではないことがわかります。

(4) 特に教職員が本校の「弱み」として評価している内容

設問8 地域人材の活用授業 設問14 居住地域の子どもたちや地域住民との関わり
設問19 本講職員として、PTA活動に関わっている

7 まとめと今後の対応

- (1) アンケートの回収率向上を目的に 設定期間を延ばし、部分的に記述を含めていきたい。
- (2) 教職員は、特に校内での教育活動に軸足を置き、自身の評価としている部分が見受けられた。
- (3) 「地域とともにある学校づくり」としては、コロナによる影響で削減・縮小してきた内容を、そのまま取り戻すのではなく、より効果的な方向を見いだす必要がある。
- (4) 高等部移転5年目を迎えるにあたり、今までの教育活動を振り返り、方向の修正や改善をする次期にきている。
- (5) 外部資産の活用を図り、学校だけでは解決できない諸問題を解決していきたい。

